

平成27年度

# 前橋工科大学概要



公立大学法人 前橋工科大学

# 前橋工科大学の理念・目的・目標

平成20年12月3日制定

## 1. 大学の理念

自然と人との共生ならびに持続可能な循環型社会の構築に貢献する知的基盤の創造を推進することによって、文化的で健康な市民生活の実現に寄与し、地域と社会の発展と福祉に貢献する工学を追求する。

## 2. 大学の目的

工学が市民生活と密接に関連した学問分野であることを踏まえた教育・研究を推進し、社会の安全・安心とエネルギー・環境をはじめとする21世紀の人類が直面する様々な課題の解決に取り組み、その成果を地域と社会に還元し、社会の発展と福祉に貢献することを目的とする。

## 3. 大学の目標

知の融合と集積を図り、これを継承・伝承して、人間性および創造性豊かな技術者を育成するとともに、市民生活を豊かにする研究を展開して、活気に満ちた地域社会構築の一翼を担う知的創造拠点としての役割を果たす。

## 校章について

本学の校章は、公募により応募のあったものの中から、清水雅彦氏(デザイナー)の作品を選考し、平成13年1月19日に制定いたしました。

## はじめに

本学は、平成25年4月に公立大学法人となり今年で3年目を迎えます。自律性と自主性を備えた、地域の核となりうる大学を目指すとともに、国際化など社会を取り巻く情勢のさまざまな変化に応えうる、教育と研究の体制を整えることにも、取り組んでおります。

平成9年4月、45年の歴史をもつ前橋市立工業短期大学を母体に、昼夜開講制による四年制工学部単科大学、前橋工科大学として、本学は新たなスタートをきりました。当初は建設工学科、建築学科、情報工学科の3学科でしたが、平成19年4月、文化・環境を科学する社会環境工学科、建築学科、総合デザイン工学科（夜間主）の3学科と、生命・健康を科学する生命情報学科、システム生体工学科及び生物工学科の3学科という、現在の6学科を擁する体制に発展的に改編しました。こうした学部の発展過程にあわせて、大学院も平成13年4月に建設工学専攻、建築学専攻及びシステム情報工学専攻の博士前期課程（修士課程）を、また平成15年4月には、これら前期課程3専攻を学際的に融合した環境・情報工学専攻の博士後期課程（博士課程）を設けました。さらに、平成23年4月、博士前期課程を建設工学専攻、建築学専攻、生命情報学専攻、システム生体工学専攻、生物工学専攻の5専攻にするとともに、博士後期課程についても、これら5専攻を統合、拡充すべく、平成25年4月に環境・生命工学専攻へと改編しました。

群馬県内には、「群馬県立女子大学」、「群馬県立県民健康科学大学」、「高崎経済大学」と、本学を含め4公立大学があります。それぞれ特色ある学部・学科から構成される各大学のもつ可能性を総合的に高めるため、平成25年3月に「四大学間での単位互換協定」を結び、本年が3回目となる「四大学合同大学説明会」も実施しております。他方、平成24年度には「昌賢学園 群馬医療福祉大学」、ならびに「共愛学園 前橋国際大学」と交流協定をそれぞれ締結し、こうして県内の各大学との教育と研究の連携も深めております。国際交流については、平成24年度は、「北京工業大学との協定更新」に引き続き、「吉林建筑工程学院 城建学院との協力と交流に関する協定」及びタイ王国の「カセサート大学工学部との覚書」をそれぞれ結んでおります。これらの協定に基づき、学生と教員が相互に活発に、交流を行っております。

本学は、地域連携推進センターを窓口として、産業界や自治体だけでなく、群馬大学をはじめとする県内の大学及び国内外の大学との各種連携、公開講座、そして国際交流など、地域社会の多様な要望に柔軟に対応しております。今後とも学内の運営体制を強化して、地域とより密接な連携を推進してまいります。

「地域社会の時代を創る知と技の育成を目指すこと」を目標に、人と科学・工学が紡ぐ21世紀の社会を創出することをテーマとして、今後とも本学は教育、研究、地域貢献等に積極的に取り組む所存であります。

前橋工科大学学長 星 和彦

# 目 次

はじめに

1	沿革	1
2	大学データ	3
3	入試データ	7
4	授業料及び諸経費	15
5	履修	16
6	就職・進学状況	18
7	附属図書館	20
8	地域連携推進センター	21
9	前橋工科大学施設配置図	24
10	前橋工科大学案内図	24
11	平成27年度年間行事計画（学年暦）	25

◆この冊子では、前橋工科大学の教育、研究、就職状況、地域貢献等に関するデータを掲載しています。

# 1 沿革

## 〔前橋市立工業短期大学〕

- 昭 27. 4. 1 前橋市岩神町 1084 番地に前橋市立工業短期大学（建設工業科第 2 部、入学定員 80 人）設置
- 昭 41. 10. 8 上佐鳥町 1560 番地に全面移転
- 昭 48. 4. 1 学則改正により専攻分離（土木工学専攻、建築学専攻）し、入学定員を 140 人に増員
- 平 6. 4. 1 昼夜開講制による建設工学科、建築学科、情報工学科開設（入学定員 240 人）
- 平 8. 12. 11 新研究棟=4 号館（鉄筋コンクリート造 5 階建）竣工
- 平 9. 3. 25 学生会館=メイビットホール（鉄骨造 2 階建）竣工
- 平 12. 3. 31 前橋市立工業短期大学廃止

## 〔前橋工科大学〕

- 平 8. 4. 30 前橋工科大学設置認可申請
- 平 8. 12. 19 前橋工科大学設置認可
- 平 9. 4. 1 前橋工科大学開学（昼夜開講制：工学部建設工学科、建築学科、情報工学科 入学定員 240 人）  
初代学長に道脇義正就任（前橋市立工業短期大学学長兼務）
- 平 9. 4. 10 前橋工科大学第 1 回入学式
- 平 9. 6. 3 開学記念式典挙行
- 平 12. 6. 30 前橋工科大学大学院工学研究科設置申請
- 平 12. 12. 21 前橋工科大学大学院工学研究科設置許可
- 平 13. 3. 23 前橋工科大学学位記授与式（第 1 回目の卒業生輩出）
- 平 13. 4. 1 前橋工科大学大学院工学研究科修士課程開設（建設工学専攻、建築学専攻、システム情報工学専攻 入学定員 36 人）  
前橋工科大学学長に道脇義正就任（再選）
- 平 13. 12. 14 大学院棟=5 号館（鉄筋コンクリート造 4 階建）竣工
- 平 14. 1. 22 高崎経済大学と教育・研究の連携について覚書締結
- 平 14. 6. 28 前橋工科大学大学院工学研究科博士後期課程設置申請
- 平 14. 12. 18 高崎経済大学と単位互換（大学院間）に関する覚書締結
- 平 14. 12. 19 前橋工科大学大学院工学研究科博士後期課程設置許可
- 平 15. 1. 29 群馬県内公立 3 大学（高崎経済大学・前橋工科大学・群馬県立女子大学）の教育・研究の連携について合意書締結
- 平 15. 3. 3 群馬県内公立 3 大学間の大学院における単位互換覚書締結
- 平 15. 3. 6 中華人民共和国北京工業大学との協力と交流に関する協定書締結
- 平 15. 3. 25 前橋工科大学大学院工学研究科修士課程学位記授与式（第 1 回目の修了生輩出）
- 平 15. 4. 1 前橋工科大学大学院工学研究科博士後期課程開設（環境・情報工学専攻 入学定員 4 人）  
前橋工科大学大学院工学研究科修士課程を博士前期課程とする。  
学長に松島巖就任
- 平 16. 1. 21 群馬県内公立 3 大学間の学部における単位互換覚書締結
- 平 16. 10. 15 第 1 回北京工業大学との交流による学生受入れ  
体育館（鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 2 階建）竣工
- 平 17. 3. 15 群馬産業技術センターと研究・技術開発の連携に関する協定書締結
- 平 17. 4. 1 クラブ棟（鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造 2 階建）竣工
- 平 17. 6. 28 第 1 回北京工業大学との交流による学生派遣

平 17. 10. 31	(株)群馬銀行と連携協定書締結
平 18. 2. 15	群馬大学、前橋工科大学、前橋商工会議所による科学技術振興及び地域文化発展のための連携に関する協定書締結
平 18. 2. 25	一般選抜（前期日程）に県外入試会場設置（東京・名古屋）
平 18. 3. 24	前橋工科大学大学院工学研究科博士後期課程学位記授与式、第1回目の修了生を送り出す 学位：博士（工学）
平 18. 6. 30	前橋工科大学工学部学科改編届出
平 18. 8. 3	桐生信用金庫と連携協定締結
平 19. 3. 22	群馬大学と包括連携協定書締結
平 19. 4. 1	前橋工科大学工学部学科改編（社会環境工学科、建築学科、生命情報学科、システム生体工学科、生物工学科、総合デザイン工学科 入学定員 262 人） 学長に江守克彦就任
平 19. 8. 10	第1回こども科学実験教室開催（～12日） 於：前橋テルサ
平 19. 10. 1	5号館南駐車場舗装整備竣工（124台収容）
平 20. 2. 20	一般選抜（前期日程）県外入試会場に仙台会場追加
平 20. 2. 25	しののめ信用金庫（旧ぐんま信用金庫）と連携協定書締結
平 20. 3. 3	新管理・講義棟=1号館（鉄骨鉄筋コンクリート造6階建）竣工
平 20. 4	地域課題共同研究プロジェクト事業スタート
平 20. 5. 8	建設工学科（昼間主コース）J A B E E 認定
平 20. 6. 1	開学10周年記念式典及び管理・講義棟=1号館竣工式
平 20. 12. 11	前橋市教育委員会と覚書（教育連携の確立と教育力の向上）締結
平 20. 12. 3	「前橋工科大学の理念・目的・目標」の制定
平 21. 4. 1	地域連携推進センター改組・名称変更（旧地域研究開発センター）
平 21. 12. 10	前橋工科大学学生協創立総会（組合成立：平成22.1.26）
平 21. 12. 14	旧管理棟・コミュニケーションホール解体工事（～平成22.3.26迄）
平 22. 3. 29	大学機関別認証評価認定（受審機関＝（独）大学評価・学位授与機構）
平 22. 3	中庭緑化（4号館－5号館）
平 22. 4. 1	生物工学科教職課程開設 高等学校教諭一種免許状（理科） 大学構内にバス停「前橋工科大前」設置
平 23. 1. 26	「前橋工科大学将来構想2010」評議会とりまとめ
平 23. 4. 1	前橋工科大学大学院工学研究科博士前期課程改編（建設工学専攻、建築学専攻、生命情報学専攻、システム生体工学専攻、生物工学専攻 入学定員 48 人） 学長に辻幸和就任
平 23. 9. 9	実験棟1（鉄筋コンクリート造3階建）竣工
平 24. 8. 23	中華人民共和国吉林建筑工程学院城建学院との協力と交流に関する協定締結
平 24. 11. 28	昌賢学園群馬医療福祉大学との大学教育研究連携に関する協定締結
平 25. 2. 12	タイ王国カセサート大学工学部との覚書の締結
平 25. 2. 18	共愛学園前橋国際大学との大学教育研究連携に関する協定締結
平 25. 3. 14	群馬県内公立4大学（群馬県立女子大学、群馬県立県民健康科学大学、高崎経済大学）間の学部における単位互換覚書締結
平 25. 3. 28	(株)東和銀行との連携協定締結
平 25. 4. 1	公立大学法人前橋工科大学に移行 前橋工科大学大学院工学研究科博士後期課程改編（環境・生命工学専攻 入学定員 4 人）
平 26. 4. 1	生物工学専攻教職課程開設 高等学校教諭専修免許状（理科）
平 27. 4. 1	学長に星和彦就任

## 2 大学データ

### (1) 教職員数

【平成27年5月1日現在】

教員		事務局職員		非常勤講師	
学長	1人	事務局長	1人	非常勤講師	134人
教授	36人	課長	2人	非常勤助手	3人
准教授	26人	課長補佐・係長・室長	6人		
講師	5人	総務課職員	9人		
助教	3人	学務課職員	9人		
		附属図書館職員	1人		
		嘱託員	19人		
合計	71人	合計	47人	合計	137人

### (2) 施設現況

【平成27年5月1日現在】

建物別延床面積 (㎡)		建物の用途別面積 (㎡)	
1号館 (SRC造 6階建)	5,067.26	講義棟・演習室	6,251.19
2号館 (RC造 3階建)	1,803.30	実験室・実習室	4,234.42
3号館 (鉄骨造 5階建)	2,592.20	研究室	2,183.50
4号館 (RC造 5階建)	4,911.30	図書館	1,081.78
5号館 (RC造 4階建)	5,314.87	管理関係施設	4,863.35
実験棟 (鉄骨造 平家建)	925.45	厚生施設	1,858.55
実験棟1 (RC造 3階建)	2,202.28	体育施設	1,865.97
図書館棟 (RC造 4階建)	2,076.89	その他	6,759.23
メイビットホール (鉄骨造 2階建)	1,373.65		
体育館 (RC/鉄骨造 2階建)	1,865.97		
クラブ棟 (鉄骨/一部RC造 2階建)	484.90		
その他施設等	479.92		
合計	29,097.99	合計	29,097.99

※敷地面積: 73,173.39㎡

#### ≪情報処理機器などの配備状況≫

##### ○パソコンルーム

- ・ 3号館: PCルーム1・・・学生用パソコン72台 (平成22年度設置)
- ・ 4号館: PCルーム2・・・学生用パソコン62台 (平成22年度設置)
- ・ 5号館: LL教室・・・学生用パソコン48台 (平成20年度設置)
- ・ 実験棟1: ソフトウェア・ウェブサイト実習室・・・学生用パソコン52台 (平成23年度設置)

##### ○デジタルサイネージシステム (電子掲示板) Panasonic NMstage

- ・ 1号館: 58インチディスプレイ
- ・ 3号館: 50インチディスプレイ

### (3) 平成27年度学科・コース別の学生数

【平成27年5月1日現在】(単位：人)

区 分	入 定 学 員	2・3年 次編入 学定員	総定員	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		合 計	
				男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
社会環境工学科	47	0	188	47	7	43	8	47	6	54	7	191	28
建築学科	51	0	204	36	20	38	21	37	19	44	15	155	75
生命情報学科	43	0	172	46	3	41	8	37	6	41	5	165	22
システム生体工学科	43	0	172	38	11	33	8	33	10	50	11	154	40
生物工学科	43	0	172	24	20	27	18	26	19	28	19	105	76
総合デザイン工学科	40	(各1)2	165	26	23	29	16	27	15	37	6	119	60
合 計	267	2	1073	217	84	211	79	207	75	254	63	889	301
	学年			1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	合 計					
	出身地	市 内		22	12	13	22	69					
		県内(市内含)		70	66	69	85	290					
		県 外		231	224	213	232	900					
合 計				301	290	282	317	1190					

### (4) 平成27年度大学院工学研究科博士前期課程学生数

【平成27年5月1日現在】(単位：人)

区 分	入 定 学 員	総定員	1 年 次		2 年 次		合 計	
			男子	女子	男子	女子	男子	女子
建設工学専攻	10	20	4	1	9	0	13	1
建築学専攻	12	24	11	3	14	2	25	5
生命情報学専攻	10	20	6	1	6	0	12	1
システム生体工学専攻	10	20	9	1	12	0	21	1
生物工学専攻	6	12	3	2	10	3	13	5
総 計	48	96	33	8	51	5	84	13
	出身地	市 内	4	1	1	0	5	1
		県 内	26	8	41	4	67	12
		県 外	7	0	10	1	17	1
合 計			33	8	51	5	84	13

### (5) 平成27年度大学院工学研究科博士後期課程学生数

【平成27年5月1日現在】（単位：人）

区 分	入 学 員	総定員	1 年 次		2 年 次		3 年 次		合 計	
			男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
環境・生命工学専攻	4	12	3	0	4	1	5	0	12	1
環境・情報工学専攻	—	—	—	—	—	—	5	0	5	0
	出身地	市 内	1	0	0	0	1	0	2	0
		県 内	1	0	3	0	2	0	6	0
		県 外	2	0	1	1	8	0	11	1
合 計			3	0	4	1	10	0	17	1

### (6) 平成26年度学部学科卒業生数

学 科 名	卒 業 者 数
社 会 環 境 工 学 科	46人
建 築 学 科	47人
生 命 情 報 学 科	43人
シ ス テ ム 生 体 工 学 科	30人
生 物 工 学 科	42人
総 合 デ ザ イン 工 学 科	38人
計	246人

### (7) 平成26年度大学院工学研究科博士前期課程修了者数

専 攻 名	修 了 者 数
建 設 工 学 専 攻	6人
建 築 学 専 攻	14人
生 命 情 報 学 専 攻	4人
シ ス テ ム 生 体 工 学 専 攻	10人
生 物 工 学 専 攻	1人
計	35人

### (8) 平成26年度大学院工学研究科博士後期課程修了者数

環境・生命工学専攻修了者	1人
論文提出による博士の学位取得者	0人

## (9) 奨学生数

日本学生支援機構奨学生者数（学部）

【平成26年7月現在】（単位：人）

学年	奨学金種別		社会環境工学科	建築学科	生命情報学科	システム生体工学科	生物工学科	総合デザイン工学科	合計
4 学年	無利子貸与	第一種	11	10	7	5	6	8	47
	有利子貸与	第二種	20	14	14	11	18	14	91
3 学年	無利子貸与	第一種	5	10	10	5	11	5	46
	有利子貸与	第二種	15	15	10	13	11	15	79
2 学年	無利子貸与	第一種	11	9	10	9	9	13	61
	有利子貸与	第二種	15	20	11	11	18	15	90
1 学年	無利子貸与	第一種	8	13	10	9	10	12	62
	有利子貸与	第二種	16	20	18	9	12	9	84
合 計			101	111	90	72	95	91	560

日本学生支援機構奨学生者数（大学院）

【博士前期課程】

【平成26年7月現在】（単位：人）

学年	奨学金種別		建設工学専攻	建築学専攻	生命情報学専攻	システム生体工学専攻	生物工学専攻	合計
2 学年	無利子貸与	第一種	1	7	3	5	0	16
	有利子貸与	第二種	0	0	1	0	0	1
1 学年	無利子貸与	第一種	0	3	1	3	4	11
	有利子貸与	第二種	0	3	1	1	3	8
合 計			1	13	6	9	7	36

【博士後期課程】

【平成26年7月現在】（単位：人）

学年	奨学金種別		環境・生命工学専攻
3 学年	無利子貸与	第一種	/
	有利子貸与	第二種	
2 学年	無利子貸与	第一種	1
	有利子貸与	第二種	0
1 学年	無利子貸与	第一種	1
	有利子貸与	第二種	0
合 計			2

日本学生支援機構以外の奨学生数

【学部】

【平成26年7月現在の自己申告】（単位：人）

1 年	2 年	3 年	4 年	合計
2	3	0	2	7

【大学院】

【平成26年7月現在の自己申告】（単位：人）

博士前期 1 年	博士前期 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年	合計
0	0	0	0	0	0

### 3 入試データ（平成28年度入学者選抜）

#### ○ 一般選抜

##### （1）募集人員

（単位：人）

入試区分	工 学 部					
	社会環境 工学科	建築学科	生命情報 学科	システム生体 工学科	生物工学科	総合デザイン 工学科
前期日程	32	33	25	29	29	12
後期日程	10	10	14	10	10	7
計	42	43	39	39	39	19

※ 一般選抜【前期日程】及び【後期日程】は分離・分割方式の区分による

##### （2）出願資格

平成28年度大学入試センター試験のうち、本学が指定する教科・科目を受験した者で、以下の各号のいずれかに該当するもの

- ① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条第1号から第6号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成28年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- ④ 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で18歳に達したもの

##### （3）選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力試験等の成績並びに調査書の内容を総合して行う。

###### ①個別学力試験等の期日・試験科目

【前期日程】選抜期日：平成28年2月25日（木）

	試験科目
社会環境工学科	数 学
建 築 学 科	
生 命 情 報 学 科	
システム生体工学科	
生 物 工 学 科	理 科
総合デザイン工学科	実 技

【後期日程】 選抜期日：平成28年3月12日（土）

	試験科目
社会環境工学科	面接
建築学科	小論文
生命情報学科	面接
システム生体工学科	面接
生物工学科	小論文
総合デザイン工学科	面接

② 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

区分	学部・学科名	教科	科目	教科・科目数	
前期日程・後期日程（共通） ※建築学科除く	工学部	社会環境工学科 建築学科 （※前期日程）	国語 数学 理科 外国語	「国語」 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 「物理」 「英語・リスニング」	4教科5科目
		生命情報学科 システム生体工学科	国語 数学 理科 外国語	「国語」 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 「物理」、「化学」、「生物」から1科目 「英語・リスニング」	4教科5科目
		生物工学科	国語 数学 理科 外国語	「国語」 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 「物理」、「化学」、「生物」から2科目 「英語・リスニング」	4教科6科目
		総合デザイン 工学科	数学 選択	「数学Ⅰ・数学A」 以下の①から⑧のうち2科目選択 ①「国語」 ②「数学Ⅱ・数学B」 ③「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、 「地学基礎」から2つを選択 ④「物理」 ⑤「化学」 ⑥「生物」 ⑦「地学」 ⑧「英語・リスニング」	2教科3科目 又は 3教科3科目
後期日程	工学部	建築学科 （※後期日程）	数学 理科 外国語	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 「物理」 「英語・リスニング」	3教科4科目

- (注) 1. 「国語」は、「近代以降の文章」のみ利用する。  
 2. 「英語」は、リスニングの成績も利用する。  
 3. 指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とする。  
 4. 「理科から1科目」の選択について、2科目受験している場合は高得点の科目を採用する。  
 5. 総合デザイン工学科の2科目の選択については、各科目を100点換算し、8科目のうち高得点のものから2科目を採用する。

③ 個別学力試験等実施教科・科目等

区分	学部・学科名	教科	科目
前期日程	工学部 社会環境工学科 建築学科 生命情報学科 システム生体工学科	数 学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」
		理 科	「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から1科目
		その他	実 技
後期日程	工学部 社会環境工学科 建築学科 生命情報学科 システム生体工学科 生物工学科 総合デザイン工学科	その他	面接（物理に関する口頭試問を含む。）
		その他	小論文
		その他	面接（基礎的な数学の口頭試問を含む。）
		その他	面接（口頭試問を含む。）
		その他	小論文
		その他	面接（口頭試問を含む。）

(4) 学力試験等の配点

①前期日程

(単位：点)

工学部	試 験	国語	数学	理科	外国語	実技	合 計
社会環境工学科 建築学科 システム生体工学科	大学入試センター試験	100	200	100	200		600
	個別学力検査	—	200	—	—		200
	計	100	400	100	200		800
生命情報学科	大学入試センター試験	100	200	100	100		500
	個別学力検査	—	200	—	—		200
	計	100	400	100	100		700
生物工学科	大学入試センター試験	100	200	200	200		700
	個別学力検査	—	—	200	—		200
	計	100	200	400	200		900
総合デザイン工学科	大学入試センター試験	—	100	—	—		300
		200（選択科目：1科目100×2）					
	個別学力検査	—	—	—	—	100	100
	計	—	100	—	—	100	400
200（選択科目：1科目100×2）							

## ②後期日程

(単位：点)

工学部	試験	国語	数学	理科	外国語	小論文	面接	合計
社会環境工学科	大学入試センター試験	100	300	200	100	—	—	700
	個別学力検査	—	—	—	—	—	100	100
	計	100	300	200	100	—	100	800
建築学科	大学入試センター試験	—	200	100	100	—	—	400
	個別学力検査	—	—	—	—	100	—	100
	計	—	200	100	100	100	—	500
生命情報学科	大学入試センター試験	100	200	100	100	—	—	500
	個別学力検査	—	—	—	—	—	100	100
	計	100	200	100	100	—	100	600
システム生体工学科	大学入試センター試験	100	200	100	200	—	—	600
	個別学力検査	—	—	—	—	—	100	100
	計	100	200	100	200	—	100	700
生物工学科	大学入試センター試験	100	200	200	200	—	—	700
	個別学力検査	—	—	—	—	200	—	200
	計	100	200	200	200	200	—	900
総合デザイン工学科	大学入試センター試験	—	100	—	—	—	—	300
		200 (選択科目:1科目 100×2)				—	—	
	個別学力試験	—	—	—	—	—	100	100
	計	—	100	—	—	—	100	400
200 (選択科目:1科目 100×2)				—				

## (5) 試験会場

## ① 一般選抜【前期日程】

- (a) 前橋会場： 前橋工科大学
- (b) 東京会場： TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
- (c) 名古屋会場： 代々木ゼミナール名古屋校B館
- (d) 仙台会場： TKPガーデンシティ仙台

## ② 一般選抜【後期日程】

前橋会場： 前橋工科大学

## (6) 合格発表

### ① 発表期日

【前期日程】：平成28年3月 4日（金）10：00

【後期日程】：平成28年3月18日（金）10：00

### ② 発表方法

本学1号館正面掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」及び「入学関係書類」を合格発表日に送付（速達）する。

### ③ 追加合格

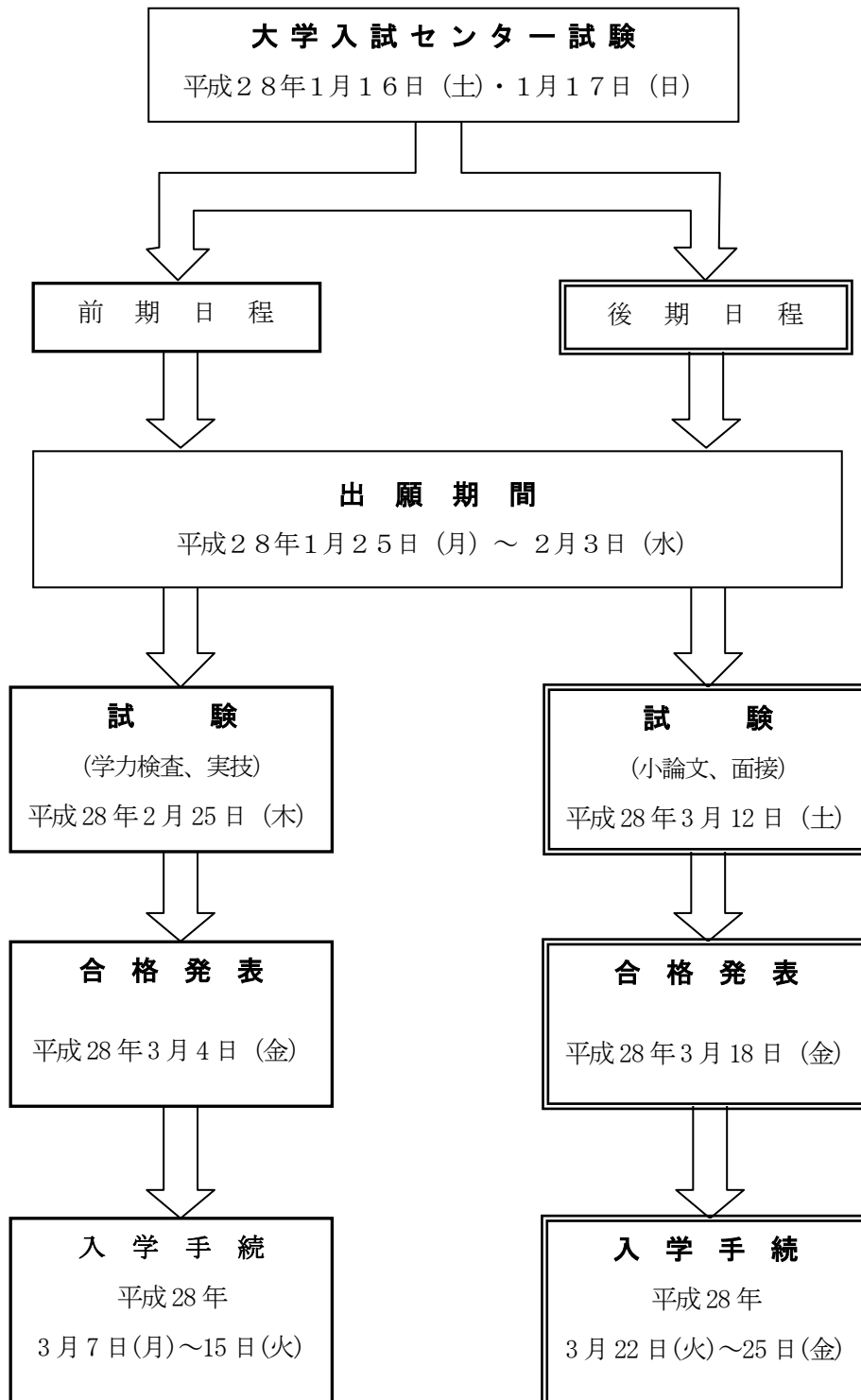
入学手続期間終了後、入学定員に欠員が生じた場合は、追加合格者を決定する。

## (7) 学科別入試状況

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
社会環境工学科	受験者数	125人	168人	190人	219人	244人
	入学者数	53人	53人	55人	51人	54人
建築学科	受験者数	196人	153人	240人	223人	199人
	入学者数	54人	59人	59人	59人	56人
生命情報学科	受験者数	126人	133人	299人	239人	113人
	入学者数	45人	43人	44人	50人	49人
システム生体工学科	受験者数	99人	146人	197人	191人	151人
	入学者数	44人	48人	47人	45人	49人
生物工学科	受験者数	149人	233人	198人	247人	160人
	入学者数	42人	45人	45人	45人	44人
総合デザイン工学科	受験者数	64人	77人	144人	203人	265人
	入学者数	39人	39人	42人	46人	49人
全体	受験者数	759人	910人	1268人	1322人	1132人
	入学者数	277人	287人	292人	296人	301人

# 一 般 選 抜

(全学科共通)

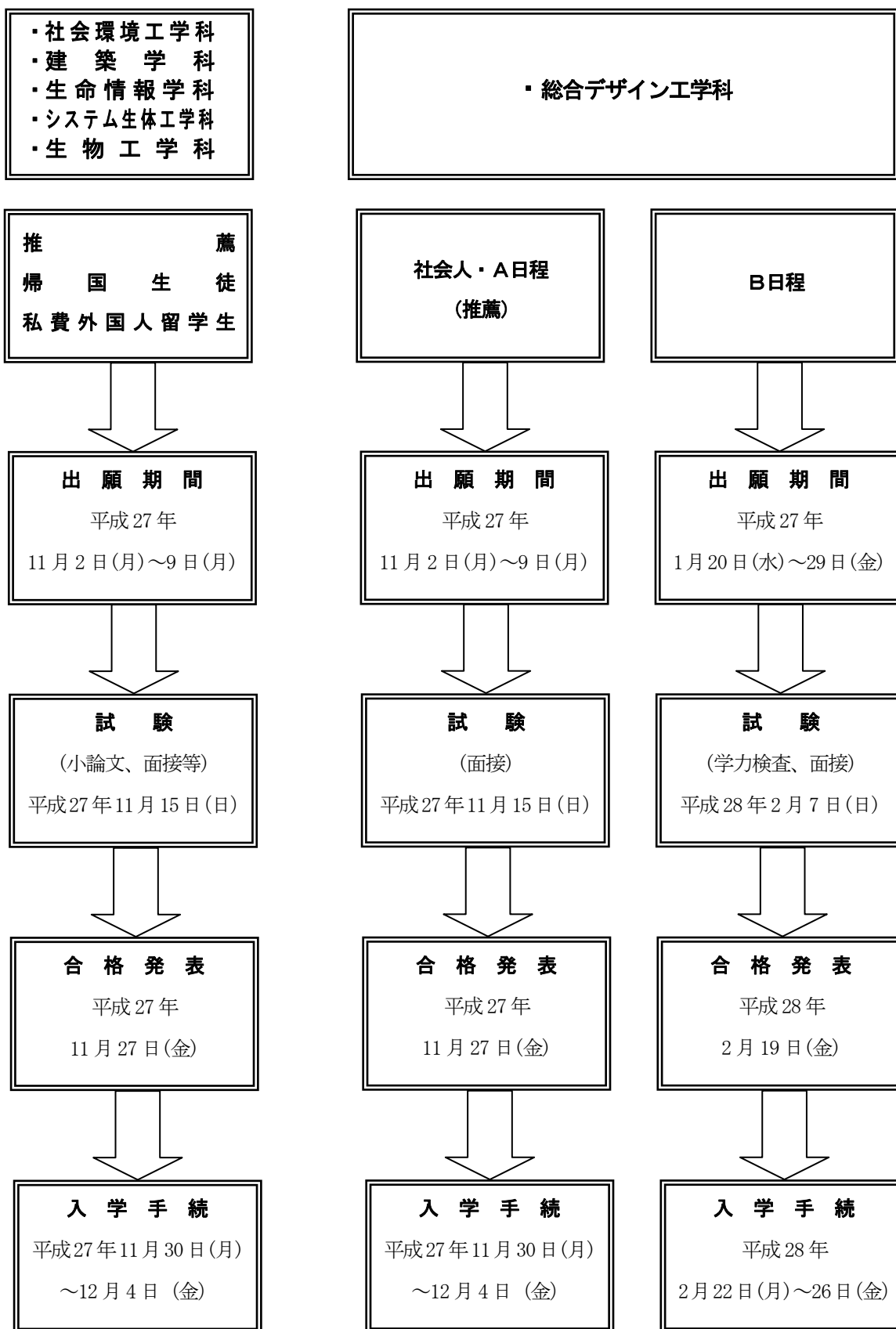


## ○ 特別選抜

### 募集人員

区 分	学 科	募集人員	選 抜 方 法
推 薦	社会環境工学科	5人	①書類審査 ②小論文 ③面接
	建 築 学 科	8人	①書類審査 ②小論文 ③面接
	生 命 情 報 学 科	4人	①書類審査 ②面接
	システム生体工学科	4人	①書類審査 ②基礎学力検査 ③面接
	生 物 工 学 科	4人	①書類審査 ②小論文 ③面接
社会人・A日程 (推薦)	総合デザイン工学科	3人	①書類審査 ②面接
B 日 程		18人	①書類審査 ②基礎学力検査 ③面接
帰 国 生 徒	社会環境工学科 建 築 学 科 生 命 情 報 学 科 システム生体工学科 生 物 工 学 科	若干人	①書類審査 ②小論文 ③面接
私費外国人留学生	社会環境工学科 建 築 学 科 生 命 情 報 学 科 システム生体工学科 生 物 工 学 科	若干人	①書類審査 ②小論文 ③面接

# 特別選抜



## 4 授業料及び諸経費

〔社会環境工学科、建築学科、生命情報学科、システム生体工学科、生物工学科〕

入学料・授業料

項目 \ 区分	前橋市内居住者	前橋市外居住者
入学料	141,000円	282,000円
授業料	前期分 267,900円 (年額535,800円)	

諸経費

諸 費	後援会費	50,000円
	同窓会費	20,000円
	災害傷害保険料	4,660円
	学生自治会費	21,000円

〔総合デザイン工学科〕

入学料・授業料

項目 \ 区分	前橋市内居住者	前橋市外居住者
入学料	141,000円	282,000円
授業料	前期分 200,900円 (年額401,800円)	

諸経費

諸 費	後援会費	50,000円
	同窓会費	20,000円
	災害傷害保険料	2,760円
	学生自治会費	21,000円

- 注) 1. 前橋市内居住者とは、入学者又はその配偶者若しくは1親等の親族が入学の年の4月1日において、引き続き1年以上前橋市内に住所を有する者とする。  
2. 授業料は、前期分を4月末日までに、後期分を10月末日までに納入。

# 5 履 修

## (1) 修業年限・在学年限

### 【学 部】

本学における学生の修業年限は、4年とする。在学年限については、8年を超えることはできない。また、第2年次に編入学した学生の在学年限は6年を、第3年次に編入学した学生の在学年限は4年を超えることはできない。なお、休学（最長期間1年）期間は、在学期間に算入しない。

### 【大学院】

#### (1) 博士前期課程

本学における学生の修業年限は、2年とする。在学年限については、4年を超えることはできない。なお、休学（最長期間1年）期間は、在学期間に算入しない。

#### (2) 博士後期課程

本学における学生の修業年限は、3年とする。ただし、在学期間に関しては、専攻会議で審査の上、優れた業績を上げた工学研究科会議が認める者については、大学院学則第32条第2項の規定による年数以上在学すれば足りるものとする。

在学年限について、6年を超えることはできない。なお、休学（最長期間2年）期間は在学期間に算入しない。

## (2) 学年・学期及び授業日数

学年は4月1日から始まり、翌年3月31日で終了し、学年を次の2期に分ける。前期は4月1日から9月30日まで。後期は10月1日から3月31日まで。ただし、前期及び後期の期間は、学長の承認を得て変更されることがある。

1年間の授業期間は、定期試験等の期間を含めて35週にわたることを原則とする。

## (3) 単 位

各授業科目の単位数は、教室内及び教室外をあわせて45時間の履修時間を必要とする内容をもって1単位とし、次の3つの基準により計算する。

①講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

②演習については、30時間の授業をもって1単位とするが、別に定める授業科目は15時間の授業をもって1単位とする。

③実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって1単位とするが、別に定める授業科目は30時間の授業をもって1単位とする。

## (4) 履修単位数

### a 学部の卒業要件

本学を卒業するためには、4年以上（2年次編入の場合は3年以上、3年次編入の場合は2年以上）在学し、次のとおり所定の単位数以上を履修し、単位を修得しなければならない。

区 分		社会環境工学科	建築学科	生命情報学科	応用生体工学科	生物工学科	総合デザイン工学科
共通教育科目	人文・社会科学科目	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	英語6単位を 含む36単位
	外国語科目	10単位	10単位	10単位	10単位	10単位	
	自然科学科目	20単位	20単位	20単位	20単位	20単位	
専門教育科目	専門基礎科目	52単位	34単位	44単位	40単位	46単位	88単位
	専門科目	28単位	52単位	36単位	40単位	34単位	
合 計		124単位	130単位	124単位	124単位	124単位	124単位

## b 卒業研究の履修条件

専門科目中の卒業研究を履修するためには、3年以上在学し、次の条件を備えていることが必要である。(総合デザイン工学科を除く。)

### ・平成18年度(2006年度)以前入学生

- ①1年次及び2年次の必修科目の単位をすべて修得していること。
- ②卒業に必要な単位数の4分の3(93単位)以上を修得していること。

### ・平成19年度(2007年度)～平成22年度(2010年度)入学生

- ①基礎教育科目中、1年次及び2年次の必修科目の単位をすべて修得していること。
- ②卒業に必要な単位数の4分の3(93単位)以上を修得していること。

### ・平成23年度(2011年度)～平成26年度(2014年度)入学生

- ①1年次及び2年次の必修科目の単位をすべて修得していること。
- ②卒業に必要な単位数の4分の3(93単位)以上を修得していること。
- ③学科で別に定める要件を満たしていること。

### ・平成27年度(2015年度)以降入学生

- ①1年次及び2年次の必修科目の単位をすべて修得していること。
- ②共通教育科目(総合デザイン工学科は基礎教育科目)の卒業要件の単位数をすべて修得していること。
- ③卒業に必要な単位数の4分の3以上を修得していること。
- ④学科で定める要件を満たしていること。

## c 博士前期課程の修了要件

### ①所定の単位数の修得

本学の工学研究科博士前期課程を修了するためには2年以上在学し、下表のとおり所定の単位数以上を履修し、単位を修得しなければならない。

区 分		建設工学専攻	建築学専攻	生命情報学専攻	システム生体工学専攻	生物工学専攻
工学研究科共通科目	選択	22単位	22単位	14単位	12単位	14単位
	必修					
専攻科目	必修	8単位	8単位	16単位	18単位	16単位
合 計		30単位以上				

### ②修士論文の審査及び最終試験の合格

必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

## d 博士後期課程の修了要件

### ①所定の単位数の修得

本学の工学研究科博士後期課程を修了するためには3年以上在学し、下表のとおり所定の単位数以上を履修し、単位を修得しなければならない。

区 分		環境・生命工学専攻
専攻科目	選択	4単位
	必修	6単位
合 計		10単位以上

### ②博士学位論文の審査及び最終試験の合格

必要な研究指導を受けたうえ、博士学位論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

## 6 就職・進学状況

### 平成26年度 学部卒業者 就職・進学状況

(平成27年4月1日現在)

工 学 部	卒業生数	就職 希望者数	就職者数	就職率	大学院 進学者	専門学校 等進学者	その他
学 科 名							
社会環境工学科	46	43	43	100.0%	2	0	1
建築学科	47	29	29	100.0%	14	1	3
生命情報学科	43	31	30	96.8%	8	0	4
システム生体工学科	30	19	19	100.0%	11	0	0
生物工学科	42	30	30	100.0%	11	0	1
総合デザイン工学科	38	29	29	100.0%	2	2	6
合 計	246	181	180	99.4%	48	3	15

○社会環境工学科：その他 進路未定者1人

○建築学科：その他 現職1人、自営1人、留学予定1人

○生命情報学科：その他 帰国1人、次年度就活者2人、進路未定者1人

○システム生体工学科：その他 該当なし

○生物工学科：その他 進路未定者1人

○総合デザイン工学科：その他 現職4人、専業主婦1人、進路未定者1人

### 平成26年度 大学院修了者 就職・進学状況

(平成27年4月1日現在)

工 学 研 究 科	修了者数	就職 希望者数	就職者数	就職率	後期課程 進学者	専門学校 等進学者	その他
専 攻 名							
建設工学専攻	6	5	5	100.0%	0	0	1
建築学専攻	14	10	8	80.0%	1	1	2
生命情報学専攻	4	4	4	100.0%	0	0	0
システム生体工学専攻	10	10	10	100.0%	0	0	0
生物工学専攻	1	1	1	100.0%	0	0	0
環境・生命工学専攻	1	0	0	0.0%	0	0	1
合 計	36	30	28	93.3%	1	1	4

○建設工学専攻：その他 帰国1人

○建築学専攻：その他 現職1人、進路未定者1人

○生命情報学専攻：その他 該当なし

○システム生体工学専攻：その他 該当なし

○生物工学専攻：その他 該当なし

○環境・生命工学専攻：その他 現職1人

**【就職先】(平成27年3月卒業生)**  
**(学 部)**

■社会環境工学科

㈱ アサノ大成基礎エンジニアリング  
 ㈱ エイト日本技術開発  
 ㈱ ガイアート・K  
 ㈱ 加賀田組  
 関東測量 ㈱  
 北野建設 ㈱  
 ㈱ 黒岩測量設計事務所  
 ㈱ 壽環境機材 ㈱  
 坂本工業 ㈱  
 ㈱ ジューエステック  
 成幸利根 ㈱  
 ㈱ ダイナム  
 大和小田急建設 ㈱  
 ㈱ タケウチ建設  
 ㈱ 長大  
 月島テクノメンテサービス ㈱  
 ㈱ 筑波銀行  
 鉄建建設 ㈱  
 東京地下鉄 ㈱  
 ㈱ 富永調査事務所  
 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 ㈱  
 新潟県土地改良事業団体連合会  
 日特建設 ㈱  
 日本設備工業 ㈱  
 ㈱ ネクスコ・エンジニアリング東北  
 ㈱ ネクスコ東日本エンジニアリング  
 東日本旅客鉄道 ㈱  
 ヒロセ ㈱  
 (特非) 難島経済新聞社  
 群馬県庁  
 静岡県庁  
 山梨県庁  
 太田市役所  
 富山市役所  
 富士市役所

■建築学科

西建築コンサルタント ㈱  
 イガラシ綜合 ㈱  
 生物建築舎 ㈱  
 ㈱ 石井設計  
 鶴川興業 ㈱  
 2人 ㈱ EDGE  
 逢坂総建  
 佐藤工業 ㈱  
 三建設工業 ㈱  
 2人 ㈱ サンプロ  
 ㈱ JR東日本リテールネット  
 新菱冷熱工業 ㈱  
 ㈱ 鈴与建設 ㈱  
 高砂丸誠エンジニアリングサービス ㈱  
 高松建設 ㈱  
 (有) テフ(アトリエDEF)  
 東京美装興業 ㈱  
 日本住宅 ㈱  
 ㈱ ノーブルホーム  
 ハイビック ㈱  
 東日本旅客鉄道 ㈱  
 平方木材 ㈱  
 (有) HIRO建築工房  
 ㈱ ヤマト  
 ㈱ LIXIL住宅研究所  
 高崎市役所  
 5人 太田市役所

■生命情報学科

㈱ エム・オー・シー  
 ㈱ オフィスエフエィコム  
 ㈱ ORIHICA  
 ぐんぎんシステムサービス ㈱  
 ㈱ コスモネット  
 3人 ㈱ ジーシーシー  
 システム・エナジー ㈱  
 ㈱ システムリサーチ  
 ㈱ 信興テクノミスト  
 鈴与システムテクノロジー ㈱  
 ㈱ 高崎共同計算センター  
 ㈱ 竹中組  
 ㈱ テクノサイト  
 ㈱ 電通クリエイティブX  
 ㈱ 東京システムリサーチ  
 ㈱ TOKAIコミュニケーションズ  
 ㈱ トップライン  
 ㈱ ナブアシスト  
 西日本旅客鉄道 ㈱  
 日本システムワープ ㈱  
 日本電子計算 ㈱  
 ハイテクシステム ㈱  
 フコク情報システム ㈱  
 ㈱ 富士通ビー・エス・シー  
 ユニシステム ㈱  
 2人 ㈱ ラック  
 リード ㈱  
 リキデン ㈱

■システム生体工学科

いすゞシステムサービス ㈱  
 ㈱ 角館芝浦電子  
 北日本コンピュータサービス ㈱  
 キヤノン・コンポーネンツ ㈱  
 坂本工業 ㈱  
 サンデンシステムエンジニアリング ㈱  
 ㈱ ショーワ  
 鈴与建設 ㈱  
 ㈱ タイター  
 東京ガス ㈱  
 八十二システム開発 ㈱  
 ㈱ ヒュービシステム研究所  
 プログレス・テクノロジーズ ㈱  
 三島信用金庫  
 明治機械 ㈱  
 ㈱ ヤオコ  
 ㈱ ロペライオ  
 農業・食品産業技術総合研究機構

■生物工学科

㈱ あきんどスシロー  
 ㈱ アセント  
 ㈱ あわしま堂  
 ㈱ ウイル  
 ㈱ ウェップ  
 上野商店 ㈱  
 ㈱ 栄太樓總本舗  
 2人 ㈱ エプリー  
 岡田工業 ㈱  
 オリヒロ ㈱  
 ㈱ 環境技研  
 クラシエフーズ ㈱  
 ㈱ さなる  
 ㈱ 大協精工  
 タマムラデリカ ㈱  
 テイカ製菓 ㈱  
 東海デキストリン ㈱  
 東京コンピュータサービス ㈱  
 日本ハムファクトリー ㈱  
 はるやま商事 ㈱  
 ファームドゥ ㈱  
 (有) 深澤製酪所  
 富士食品工業 ㈱  
 フタバ食品 ㈱  
 モガミフーズ ㈱  
 ㈱ やまひろ  
 群馬県薬剤師会環境衛生試験センター  
 前橋市農業協同組合

■総合デザイン工学科

㈱ アールエイジ  
 ㈱ 明野設備研究所  
 ㈱ 石井設計  
 ㈱ イシマル  
 ㈱ 加賀田組  
 ㈱ 関東マツダ  
 建築工業 ㈱  
 ㈱ CSS技術開発  
 ㈱ シリウス  
 須賀工業 ㈱  
 ㈱ 設備技研  
 ㈱ 第一ダイヤモンド工事  
 高砂丸誠エンジニアリングサービス ㈱  
 2人 ㈱ 谷垣工業  
 東京ガス ㈱  
 東京コンピュータサービス ㈱  
 中村建設 ㈱  
 ニッカホーム ㈱  
 日本住宅 ㈱  
 東日本旅客鉄道 ㈱  
 日比谷総合設備 ㈱  
 ㈱ 福島建築設計事務所  
 ㈱ 藤コンサル  
 POLUS ㈱  
 ㈱ ミヤケン  
 2人 ㈱ ヤマト  
 UTコンストラクションネットワーク ㈱  
 ㈱ ライトオン  
 吾妻広域町村圏振興整備組合

**(大学院)**

■建設工学専攻

e-works ㈱  
 ㈱ 長大  
 東日本旅客鉄道 ㈱  
 前橋市役所

■建築学専攻

2人 ㈱ 大林組  
 ㈱ 岡村製作所  
 ソーシャルデザインワークス ㈱  
 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 ㈱  
 西松建設 ㈱  
 ㈱ ワンジャースホールディングス  
 べんぎんアソシエイツ ㈱  
 ㈱ リバティホーム

■生命情報学専攻

㈱ アウトソーシングテクノロジー  
 ㈱ インテリジェントウェイブ  
 T&D情報システム ㈱  
 他

■システム生体工学専攻

㈱ エー・アンド・デイ  
 エンシュウ ㈱  
 シーメンス・ジャパン ㈱  
 太陽誘電 ㈱  
 ㈱ トップ  
 ㈱ ナカヨ  
 日本光電工業 ㈱  
 ㈱ ヤマト  
 ユニキャリア ㈱  
 甘楽町役場

■生物工学専攻

㈱ 夢真ホールディングス

**【大学院進学先】**  
**(学 部)**

■社会環境工学科

前橋工科大学大学院

■建築学科

2人 前橋工科大学大学院  
 熊本大学大学院  
 首都大学東京大学院  
 東京工業大学大学院  
 横浜国立大学大学院

■生命情報学科

10人 前橋工科大学大学院  
 奈良先端科学技術大学院大学  
 福島大学大学院  
 6人

■システム生体工学科

前橋工科大学大学院  
 群馬大学大学院

■生物工学科

前橋工科大学大学院  
 筑波大学大学院  
 東京工業大学大学院  
 三重大学大学院  
 横浜市立大学大学院

■総合デザイン工学科

前橋工科大学大学院  
 2人  
 2人  
 2人

**【大学院】**

■建築学専攻

前橋工科大学大学院(後期課程)

## 7 附属図書館

図書館棟は、平成9年4月の四年制大学昼夜開講制への移行に併せて平成8年に改修工事を行い、書架及び閲覧スペース 607.50 m<sup>2</sup>を拡大、現在の総床面積は2,077 m<sup>2</sup>である。

学術研究資源を地域の市民に活用していただくため、本学学生及び教員以外の一般の方にも公開している。

貸出冊数・期間は、6冊・2週間である。平成14年度より利用の多い雑誌は、複数購入してバックナンバーも貸出している。

平成27年4月1日現在の蔵書は、図書89,615冊、逐次刊行物893誌、視聴覚資料1,232点を所蔵している。

附属図書館の環境は、電子化の進展と学術情報流通の変化への対応として計画的に整備を進め、平成19年4月から電子ジャーナルを導入し、閲覧利用を図っている。

年度別図書貸出冊数

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
学生	12,527冊	11,317冊	11,027冊	11,041冊	9,594冊
教職員	1,435冊	1,843冊	1,624冊	1,770冊	1,923冊
学外者	2,462冊	2,282冊	2,530冊	2,414冊	2,073冊
合計	16,424冊	15,442冊	15,181冊	15,225冊	13,590冊

資料収集は、「各学科の学習科目」、「学術研究」及び「学生の生活」に配慮し、利用状況、蔵書の状況を踏まえて計画的に収集している。

また、蔵書の利用及び管理の良好な環境を保つため、蔵書点検は年2回実施、図書管理規程による不要資料の廃棄により収蔵の効率化を図っている。また、インターネットを介した電子的情報源への利用効果を高めるため、平成17年からNACSIS-CAT/ILLに参加し、平成23年3月に図書館システムの更新を行った。さらに、平成25年4月よりNACSIS-ILL 文献複写等料金相殺サービスの利用を開始し、学生等の利便性向上を図っている。

### 《開館時間》

月曜日～金曜日＝午前9時から午後9時30分まで

土曜日＝午前9時30分から午後6時まで

※ 夏季・春季休業期間中は、月曜日から金曜日までの午前9時から午後5時まで

### 《施設概要》

図書館総床面積 2,077 m<sup>2</sup>

閲覧スペース 508 m<sup>2</sup>、書庫 714 m<sup>2</sup>、事務スペース 95 m<sup>2</sup>、その他 760 m<sup>2</sup>

1 F 開架図書室（閲覧：16席、蔵書検索用端末：3台）

2 F 学習室（雑誌コーナー 学習席：120席）、書庫、事務室

3 F 学生交流室、AVコーナー、会議室、書庫

4 F 書庫

## 8 地域連携推進センター

地域連携推進センターは、本学の教育研究の成果を活かし、「地域貢献事業」、「連携研究推進事業」及び「国際研究交流事業」を3本柱とした業務を行っている。本学におけるこれら業務の総合窓口となることにより、地域社会、地元企業、行政機関、大学等研究機関などと連携して、地域づくりや産業の振興に貢献するなど、広く地域社会の発展に寄与している。

### (1) 地域貢献事業

#### a 地域産業の振興支援

- ・産学連携フォーラムの開催

地域企業のニーズを把握した産学連携の推進を図ることにより、地域や産業の発展に寄与することを目的に実施している。

- ・産官学連携コーディネーターによる活動

産官学連携を推進するため産官学連携コーディネーターを配置し、企業、行政を始め、関係諸機関との調整等の活動を担任している。

#### b ベンチャー企業の創出

本学には、大学からの技術移転などを元に設立された大学発ベンチャーが5つ創出された。

#### c ネットワークの構築と連携活動の推進

- ・産学連携ネットワークの推進

#### d 地域活性化への貢献

- ・地域貢献学生スタッフの登録制度
- ・地域社会への大学施設の利用促進

#### e 生涯学習、専門技術者等人材の育成

- ・公開講座、専門講座等の開催

本学の教育研究の内容等を広く市民等に公開するため各種の講座等を開催しており、生涯学習活動に資する活動となっている。

(単位:人、カッコ内は講座数)

年度/講座名	公開講座	専門講座	計
平成 22 年度	811(10)	292(1)	1,103(11)
平成 23 年度	535( 8)	236(4)	771(12)
平成 24 年度	356( 7)	197(2)	553( 9)
平成 25 年度	406( 7)	116(2)	522( 9)
平成 26 年度	182( 5)	99(3)	281( 8)

f 地域の教育力向上等の支援・貢献

・こども科学教室の開催

子どもたちの理科離れに対応するため、夏休み期間中に小中学生を対象に理科や技術の夢や面白さを知ってもらうための科学実験のイベントを開催し、子どもたちに理科学への興味、関心を高めるよう努めている。

項目/年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
会 場	元気 2 1	元気 2 1	元気 2 1	前橋工科大学	前橋工科大学
テーマ数	22	17	20	22	23
参加者数	2,090 人	2,667 人	2,021 人	1,700 人	2,927 人

・小中高等教育機関・地域団体との連携

高校生の科学に対する興味や知的探究心等の育成と進路への意識を醸成するため、高校と連携し、本学教員が本学等の施設を利用し、講義、実験等を行うスーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）及びサイエンス・パートナーシップ・プログラム（SPP）事業などの高大連携事業を実施している。

## (2) 連携研究推進事業

a 外部資金受入れ

企業、研究機関等からの委託等による研究を行い、以下のような実績がある。

・共同研究・受託研究等の実施状況

(単位:千円)

	受託研究		共同研究		寄附金	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成 22 年度	8	14,688	6	0	8	5,900
平成 23 年度	12	7,592	6	300	7	4,200
平成 24 年度	8	6,992	6	1,200	5	1,820
平成 25 年度	9	4,349	20 (13)	18,252 (12,277)	9	5,016
平成 26 年度	10	19,957	26 (12)	23,326 (12,532)	9	11,249

※ 共同研究のカッコ内は、公募型共同研究の件数及び金額であり、平成 25 年度から前橋市の補助事業の一部を企業、研究機関等から本学へ共同研究契約書に基づき受け入れている。

b 地域課題の研究支援

・公募型共同研究事業の実施

地元企業が抱える課題に応えるため、地域の産業界と連携し、企業ニーズに応える共同研究を実施し、将来的に共同研究を行った地元企業の雇用創出に繋げ、結果として本学の卒業生が地元企業に就職できる環境整備を進めることを目的に事業を実施している。

- ・地域活性化研究事業（技術開発課題・地域活性化課題）の実施  
地域活性化に貢献することを目的として、地域活性化課題を本学の教員の研究テーマとして募集し、教員が提案者と共に調査研究を行う事業を実施している。

c 職務発明、知的財産の管理と活用

d 他大学等研究機関との連携研究の促進・支援

**【昌賢学園 群馬医療福祉大学】**

平成24年11月28日、前橋市役所にて群馬医療福祉大学と「大学教育研究連携に関する協定」を締結した。

**【共愛学園 前橋国際大学】**

平成25年2月18日、前橋工科大学にて前橋国際大学と「大学教育研究連携に関する協定」を締結した。

現在、群馬医療福祉大学、前橋国際大学と連携して、地域活性化や地域の課題解決に取り組み、相互に協力し、教育研究における学術交流を進めている。

### (3) 国際研究交流事業

a 海外大学等研究機関との研究交流の促進・支援

- ・海外大学等研究機関との協定締結

**【中華人民共和国 北京工業大学】**

学術と教育の交流の促進に関する協定を結んでいる中国の北京工業大学と、毎年相互に2人の大学院生を1か月間派遣、受け入れする事業を実施している。

**【中華人民共和国 吉林建筑工程学院城建学院（現在の吉林建築大学城建学院）】**

平成24年8月23日、吉林建筑工程学院城建学院と協力と交流に関する協定を締結した。

**【タイ王国 カセサート大学工学部】**

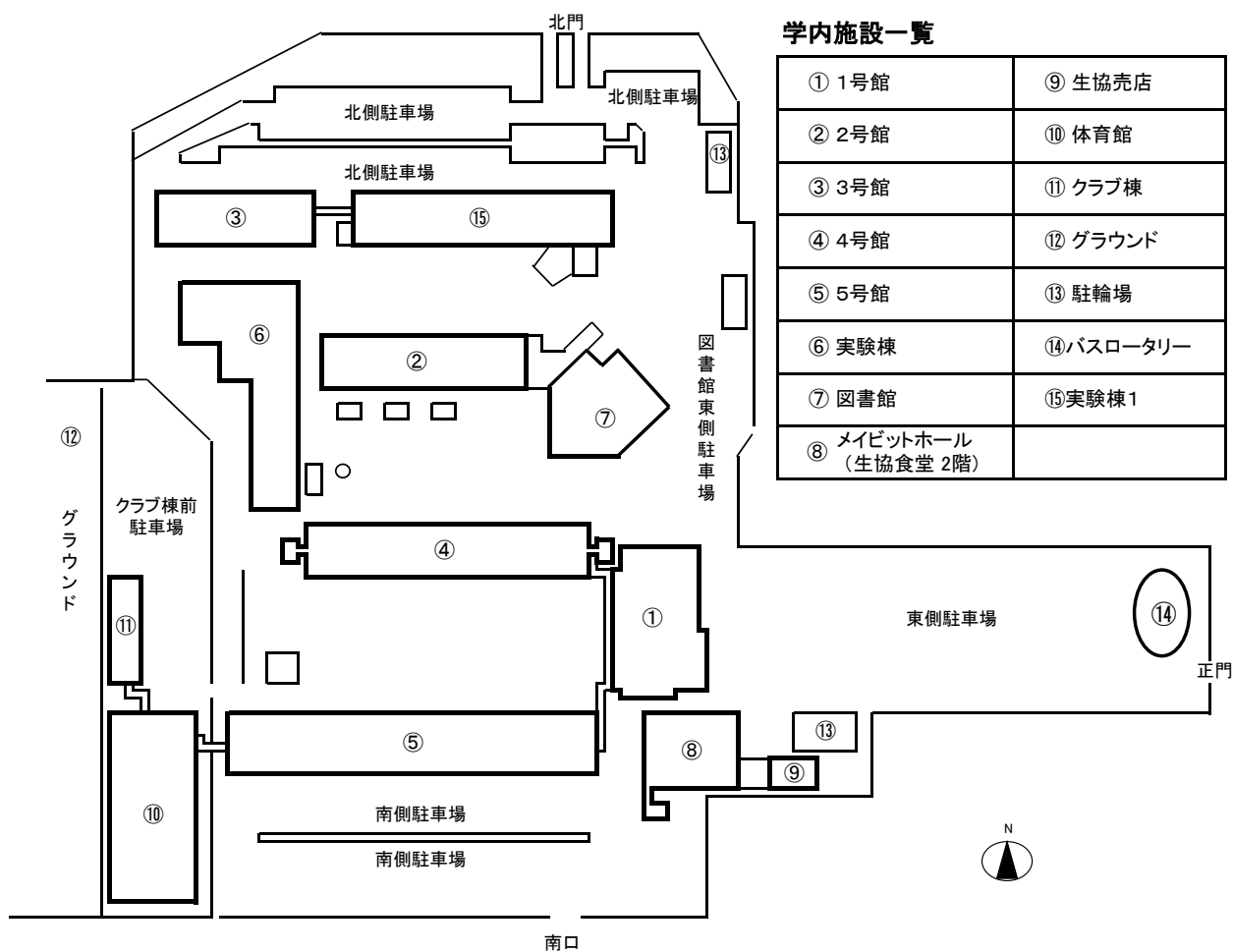
平成25年2月12日、カセサート大学工学部と学術と教育の協力を進めることに合意して覚書を締結した。

現在、吉林建築大学城建学院、カセサート大学工学部と連携して、教員や学生の学術と教育の交流を進めている。

- ・海外学生研修の充実

b その他国際研究交流の推進

## 9 前橋工科大学 施設配置図



## 10 前橋工科大学 案内図



# 11 平成27年度 年間行事計画 (学年暦)

	大学行事	学生関係	学生自治会	文部科学省・その他団体
4	1 全体会議 6 入学式・春季休業終了 7 奨学金説明会 9 定期健康診断 (4/9・10・13) 15 教授会 17 メンタル相談 22 教育研究審議会	附属図書館蔵書整理 (3/27~4/2) 6 在学生ガイダンス (時間割配付) 7 新入生ガイダンス 8 キャリアセンターガイダンス 8 前期授業開始 13 前期履修登録申請受付 (~4/18) 15 既習得単位認定 (教授会) 21 前期履修登録訂正申請受付 (~4/25) 30 振替休業 (~5/2まで) 公務員試験対策講座	新入生歓迎会	
5	中旬 メンタル相談 (5/8・21) 20 教授会 27 教育研究審議会	カレッジT O E I C 労働法・税金セミナー		同窓会役員会 後援会役員会
6	1 地域課題共同研究PJ採択発表 1 開学記念日 12 メンタル相談 14 公立4大学合同大学説明会 17 教授会 24 教育研究審議会	1 開学記念日 (授業実施) 4 履修取消し受付 (3年次以下) (~6/6) 就活スタートアップ講座 1、2年生向けキャリアデザイン講座	合同体育祭 学生大会	後援会総会 同窓会総会
7	1 高等学校教員対象説明会 5 大学院(博士前期)入試 中旬 メンタル相談 (7/10・16) 15 教授会 20 祝日 (授業日) 22 教育研究審議会	1 前期期末試験日程発表 20 祝日 (授業日) 23 前期期末試験期間 (~7/29) 30 前期補講期間 (~8/5) インターンシップ直前講座	体育祭	
8	2 オープンキャンパス 8 こども科学教室 (~8/9) 19 教授会 26 教育研究審議会	2 オープンキャンパス 6 夏季休業 (~9/25) インターンシップ		同窓会役員会
9	9 後期科目等履修生試験 16 教授会 下旬 教育研究審議会 下旬 メンタル相談 (9/9・15) 27 保護者会	附属図書館蔵書整理 (9/3~9/9) 25 後期ガイダンス 26 後期授業開始 インターンシップ カレッジT O E I C		
10	4 産学連携フォーラム 中旬 メンタル相談 (10/10・16) 14 教授会・全体会議 21 教育研究審議会 25 オープンキャンパス	5 後期履修申請受付 (~10/10) 12 祝日 (授業実施) 13 後期履修訂正受付 (~10/17) 就職活動実践講座	24 学園祭 25 学園祭	
11	8 大学院(博士前期・博士後期)入試 13 メンタル相談 15 推薦・私費留学・帰国生徒・総合デザイン 工学科 (A日程・社会人・編入学) 入試 公開講座 18 教授会 25 教育研究審議会	12 履修取消し受付 (3年次以下) (~11/14) 23 祝日 (授業実施) 就職活動実践講座		学内連絡座談会 (大学・同窓会・後援会)
12	上旬 専門講座 (~2月下旬) 11 メンタル相談 中旬 奨学金適格設定説明会 16 教授会 下旬 教育研究審議会	23 冬季休業 (~1/7) 就職活動実践講座		同窓会役員会
1	6 全体会議 中旬 メンタル相談 (1/8・21) 15 大学入試センター試験準備 16 大学入試センター試験 (~1/17) 20 教授会 27 教育研究審議会 下旬 転学科手続 群馬イノベーション・ミートアップ in University	8 後期授業再開・後期期末試験日程発表 26 後期期末試験期間 (~2/1) 就職活動実践講座	上毛かるた大会	同窓会及び後援会合同新年会
2	上旬 地域課題研究事業説明会 7 総合デザイン工学科 (B日程) 入試 大学院(博士前期・博士後期)入試 12 メンタル相談 17 教授会 24 教育研究審議会 25 一般選抜入試 (前期日程) 29 前期科目等履修生・研究生試験	2 後期補講期間 (~2/8) 4 学年末臨時休業 (~3/24)  S P I テスト対策模擬試験 就職活動実践講座、個別・集団面接対策		
3	12 一般選抜入試 (後期日程) 就職活動解禁・企業説明会スタート 16 教授会 25 学位記授与式 下旬 教育研究審議会	上旬 就職活動解禁・企業説明会スタート 企業説明会 (合同・個別) 11 卒業者発表 25 春季休業 (~4/4) 下旬 附属図書館蔵書整理		
備考				

## 前橋工科大学概要

発行 平成27年6月  
編集 前橋工科大学 事務局  
発行 前橋工科大学 事務局  
〒371-0816 前橋市上佐鳥町460番地1  
電話 027-265-0111  
FAX 027-265-3837  
URL <http://www.maebashi-it.ac.jp/>  
E-mail [jimu@maebashi-it.ac.jp](mailto:jimu@maebashi-it.ac.jp)